



千葉大学  
CHIBA UNIVERSITY



Medical Intelligence

岩淵薬品株式会社

## 千葉大学予防医学センターと岩淵薬品株式会社 「健康まちづくり共同研究部門」を設立

千葉大学予防医学センター（教授：近藤克則、特任准教授：中込敦士）（以下、予防医学センター）は、岩淵薬品株式会社（代表取締役社長：岩淵 琢磨）（以下、岩淵薬品）と連携し、新たな共同研究部門として「健康まちづくり共同研究部門（Department of Community Building for Well-being）」を2023年4月1日に設立しました。

岩淵薬品は、千葉大学 IMO\*のイノベーションパートナー制度\*\*の第1号正会員として、千葉大学と連携を深めてイノベーション創出活動に積極的に取り組んでいます。このたび、千葉大学 IMO によるパートナー会員向けの特別な支援メニューの一環として、会員企業と大学の研究グループとのマッチング活動を行い、総合ヘルスケア企業として地域の健康というアプローチで事業展開を目指している岩淵薬品と、医工融合で健康なまちづくりを研究する予防医学センターの知見の双方のニーズが合致し、共同研究部門設立が実現致しました。

\*IMO（学術研究・イノベーション推進機構）は、産学連携に必要な機能・専門人材の集約により、イノベーションの創出、地域・産業の活性化に寄与することを目的に設立されました。ご要望・案件ごとに専門人材がサポートいたします。

\*\*イノベーションパートナー制度はパートナー企業様と本学が多様な形態で協働し、かつ、双方の知の融合によって、社会の課題解決に向けた新たな価値（イノベーション）を創造するために創設しました。パートナー会員様は、知財の事業化支援、イノベーション創出のためのコンシェルジュ支援、人材育成サポート等本学 IMO の URA による個別支援を受けることができます。

### 千葉大学予防医学センター・岩淵薬品株式会社「健康まちづくり共同研究部門」概要

#### <設立趣旨>

目指すのはからだの健康だけではなく、こころと社会的との関わりを含む well-being（幸福・健康）。

取り組むのは、健康課題だけでなく、教育、防災、社会的孤立・孤独など、いろいろな社会課題の緩和を含む、まちづくりです。

子ども、若者、働く世代、高齢者まで、生涯を通じて社会参加して役割・居場所・生きがいを持てるような、暮らしているだけで自然に well-being（幸福・健康）が高くなるまちづくりを目指します。

これを実現するために、多くの分野の企業群や自治体とも共同し、ICT も活用して、ハイブリッドなまちづくりを進めます。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

千葉大学 研究推進部産学連携課 Tel：043-290-3048 E-mail：beg3605@office.chiba-u.jp

岩淵薬品株式会社 ソーシャルソリューション本部 Tel：043-236-7707

## 【内容】

千葉大学予防医学センターが強みとして持つ複数の市町村や企業・事業者、研究機関との産官学連携による Well Active Community (WACo) づくりのノウハウと岩渕薬品株式会社（以下、「岩渕薬品」）のもつ千葉県下の企業間のネットワークを生かし、健康まちづくりのモデルの形成、促進・阻害関連要因の解明、その社会実装と効果検証などに取り組みます。具体的には以下の取組を行っていきます。

- ・企業や自治体が取り組む健康まちづくり事業・サービスのモデル化
- ・複数の自治体や企業を巻き込んだセミナー・ワークショップを通した産官学ネットワークの構築
- ・PFS（成果連動型民間委託契約方式：Pay For Success）・SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド：Social Impact Bond）\*の考え方を適用し、新たな健康まちづくりのモデル創出・効果評価
- ・スマートフォンのアプリを活用したまちや人とのつながりの醸成モデル創出・効果評価

上記活動から創出される活動を両者が協力して組織的にマネジメントすることにより、健康まちづくりを用いた社会実装に向けた研究開発力の強化を図ります。

多分野の産官学連携によって地域課題にフォーカスした共同研究講座は千葉大学でも初めての試みとなります。

\*PFS：地方公共団体等が、民間事業者に委託等して実施させる事業のうち、その事業により解決を目指す「行政課題」に対応した「成果指標」が設定され、地方公共団体等が当該行政課題の解決のためにその事業を民間事業者に委託等した際に支払う額等が、当該成果指標の改善状況に連動する事業

\*SIB：民間資金を活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、その事業成果（社会的コストの効率化部分）を支払の原資とすることを目指すもの

今後の予定

### 【シンポジウムの開催】

共同研究部門設立記念 Well-being シンポジウム

健康まちづくり～産学連携による SIB の可能性を探る～

令和 5 年 7 月 14 日（金）15:00-17:00 千葉大学けやき会館

※14:00～開場・企業デモ開始